

# 総合社会学科

公務員／スポーツ・健康／食マネジメント／経済・経営／メディア・社会心理／観光・地域デザイン

## 志望コースの選定について

志望のコースは総合型入試の面談を通じて決めていただけます。エントリーシートを提出する時点では、6つのコースの希望する順位を記入してください。面談を進めるなかで担当教員のアドバイスや提案を受けながら、発表課題の内容や志望動機等と結びつく、より適したコースの選択ができます。

## プレゼンテーションのテーマについて

試験1日目の面談を踏まえて作成したレポートをもとにプレゼンテーションを行います。課題は下記の例にあるように、これからの計画を考える立案型でも、これまでの成果をまとめる作品・報告型でもかまいません。具体性や意欲、表現力などが評価されます。

### ●発表例(過去の入試からの抜粋)

- オンライン京都マラソンの経済効果
- 〇△工業と私の町の障がい者雇用
- 地域と劇場～衰退する高校演劇の復活～
- 人工知能を活用した未来への希望
- 地元京都から考える日本の防災
- 擬人化作品がブームになる要素と社会に与える影響の変化について
- SNSがもたらす社会問題
- 地域の活性化とInstagram活用の検討
- 小浜市の観光プランと地域の活性化
- 大道芸と地域社会の活性化について

### Check!

- テーマ設定に悩んだら、6～8月のオープンキャンパスにGO!
- 総合型選抜ガイダンスでテーマ設定のポイントを解説!
- 過去の合格者から体験談を聞くことができる!

## 🔍 準備の進め方およびレポート作成について

下記の準備期間の取り組み方は、あくまで参考です。時間の使い方は自由ですので、より良い方法でプレゼンテーションの準備とレポート作成に取り組んでください。レポートの書き方や分量などについては、試験1日目に教員から説明がありますので、指示に従って作成してください。

## プレゼンテーション 演習方式

自ら設定した調査課題や 将来の目標について具体的に構想し、プレゼンテーションする試験です。

### 募集人員\*

25名

### 出願資格

合格した場合、本学への入学を確約できる者(専願)で、下記①～③のいずれかの項目に該当する者(年齢不問)

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者

\*個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、出願期日の1ヶ月前までにアドミッションオフィスまでお問合せください。

\*総合社会学部 総合型選抜の募集定員(プレゼンテーション演習方式、わたしが決める合格判定方式、探究活動活用方式、進路探求方式の合計)

## 入試スケジュール

### 出願 受付期間

8/30(金)～9/5(木) 消印有効  
9/6(金)9:00～17:00のみ本学持込可

必要なのはコレ!  
● エントリーシート\*  
● 取得資格申出書\*(対象者のみ)  
● 調査書

\*本学Webサイトよりダウンロードできます。

### 試験 1日目

9/15(日)

面談、課題発表(プレゼンテーション)、レポート、エントリーシート、調査書、取得資格・検定・スコア等によって、総合的に評価して合否を判定します。

準備期間  
(約2週間)

### 試験 2日目

9/29(日)

### 合格 発表日

10/5(土)

## 入試の流れ

受験者の多様な能力や資質を総合的に評価します。「現代社会における諸問題を発見し、具体的な解決方法を提案し、地域や社会に貢献する」ための自分なりの考え方などを、プレゼンテーションで伝えてください。

### 試験1日目

## 個人面談(30分程度)

出願時に提出されたエントリーシート\*に基づいて、試験2日目に行うプレゼンテーションのテーマと内容について担当教員と面談します。取り組みたいテーマについて何でも相談してください。担当教員からアドバイスや提案を受けることができます。

\*本学所定のエントリーシート(本学Webサイトよりダウンロード可能)に、志望動機やプレゼンテーションの発表テーマのもととなるタイトルと具体的な内容(予定)等を記入し、出願手続時に提出。

## 1日目終了後～ 準備期間(2週間)

2日目の発表に向けて、2週間の準備期間の中で「いつ」「どのように」準備したのかを「準備記録用紙(本学所定用紙:1日目の面談時に配付)」に記録します。

### STEP 1(例)

#### ●プレゼンテーションのテーマを確定

試験1日目終了後から試験2日目までの約2週間で、プレゼンテーションの準備を進めます。まずは、面談を踏まえてプレゼンテーションのテーマと内容の方向性をまとめます。どのような資料が必要か、どんな調査を行うかなどを考えて具体的な準備を進めます。

### STEP 2(例)

#### ●資料収集や調査など

プレゼンテーションのテーマに応じて、書籍やインターネットなどでの資料収集、地域でのフィールドワーク調査、調査対象者へのインタビューなどを行い、データや情報を集めます。必要であれば、プレゼンテーションで使用するパワーポイントなどの発表用資料を作成してください。

\*高校の授業などですでに作成、収集した資料やデータを活用してもOK。

### STEP 3(例)

#### ●プレゼンテーションの練習

プレゼンテーションの内容を時間内にわかりやすく伝えられるように練習し、試験2日目に備えます。

#### ●レポート作成(1,200字)

プレゼンテーションの内容をレポートにまとめます。資料の見やすさやわかりやすさなども自分なりに工夫してください。

### 試験2日目

## プレゼンテーション (15分程度)

これまでの取り組みの成果をプレゼンテーションで発表します。発表は受験者が面談担当教員に対して個別に行うスタイルです。グループ等(受験者同士)での発表ではありません。発表後、質疑応答を行います。「レポート」および「準備記録用紙」は発表時に提出していただきます。

発見、成長力。